

FUKUOKA NEXT

このまちを次のステージへと
飛躍させるチャレンジ

～平成27年度当初予算案の概要～

平成27年2月13日
福岡市財政局



目次

- I 政策の推進 . . . 1
 - 1 都市の成長の果実を生活の質の向上へ
 - 2 特区を活かした次のステージの都市づくり
 - 3 さらに成長を見据えた機能・供給力の向上

- II 行財政改革 . . . 10
 - 1 行財政改革の推進
 - 2 健全な財政運営のための取組み
 - 3 市債残高の着実な縮減

- III 予算案の姿 . . . 20

FUKUOKA NEXT

～ 福岡を次のステージへ～

- 国家戦略特区を活かし、さらなる「都市の成長」を推進し、その果実を「生活の質の向上」に着実に振り向けるとともに、都市の成長に応じた機能・供給力を向上
- 人口バランスが変化し、社会保障関係費の増加などにより財政制約も高まっていく中、ICTの活用や民間活力の導入などにより、持続的な成長が可能なまちづくりを推進

「元気で住みやすい」このまちを次のステージへと飛躍させるチャレンジ

1 都市の成長の果実を生活の質の向上へ（動き始めた好循環をより確かなものに）

⇒ すべての小学校に空調設備を整備，子ども医療費助成の対象拡大，高齢者乗車券にタクシー券を導入，いきいきセンターふくおかの体制強化，新たな保育需要への対応，区役所のすべての所属にサービス介助士を配置

2 特区を活かした次のステージの都市づくり（福岡が九州・日本の成長を牽引）

⇒ スタートアップカフェの機能強化，アクティブシニアの創業・就業支援，中小企業・スタートアップ企業マッチング事業，女性の創業チャレンジ支援，商店街空き店舗における創業応援事業，創業初期の企業の発掘・成長支援事業

3 さらに成長を見据えた機能・供給力の向上（次の世代に遺す福岡を）

⇒ 中央ふ頭クルーズセンター供用開始，新青果市場の開場，スポーツの拠点となる総合体育館の整備に着手，美術館のリニューアルに着手，ウォーターフロントの再整備，コンベンション拠点の形成

1 都市の成長の果実を生活の質の向上へ(動き始めた好循環をより確かなものに)

子育てしやすい環境づくりや、高齢者や障がい者などすべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくり、また元気で支え合いのある地域づくりなど、生活の質の向上を図り、好循環をより確かなものにしていきます。

子育て・教育環境の充実

☆学校施設空調整備事業【3,534,815】(教委)

全小学校への空調整備及び平成28年度の全中学校への空調整備に向けたPFI事業者の選定等

☆子ども医療費助成【3,792,691】(保福)

入院医療費の助成対象を拡大
(小学6年生までを中学3年生までに)



☆新たな保育需要への対応【3,619,919】(こども)

民間保育所及び小規模保育事業所への整備助成、認可外保育施設の認可化等(1,400人分の整備)

☆留守家庭子ども会【2,889,888】(こども)

全施設で小学6年生までの受入開始、夏休み等の開始時間前倒し(8:30→8:00)、「子ども・子育て支援新制度」における新たな施設基準への対応

★国際教育礎プラン【28,630】(教委)

小中高連携推進モデル地区を設置し、連携専任の英語教員を配置するなど、英語教育を充実

☆子ども家庭支援センターの増設【25,720】(こども)

児童に関する相談等に助言や援助等を行うセンターを1か所増設

★保育所、幼稚園等の実費負担軽減【30,768】(こども)

給食費、教材費、行事費等の実費について、生活保護世帯の負担を軽減

☆学びと居場所づくり(生活困窮者自立支援事業)【30,308】(保福)

中学2・3年生を対象とした学習支援を新たに市内2カ所で実施

★寡婦(夫)控除のみなし適用【21,636】(こども, 住都, 教委)

税制度上の「寡婦(夫)控除」のみなし適用を実施(対象:保育所保育料, 私立幼稚園就園奨励補助金, 市営住宅使用料の減免, 就学援助等)

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

高齢者のくらし支援

☆高齢者乗車券交付事業【1,396,419】(保福)

高齢者の社会参加促進を目的とする交通費の一部助成について、新たにタクシー券を導入するとともに、移動支援施策全般の見直しを検討

☆いきいきセンターふくおかの体制強化【1,539,291】(保福)

いきいきセンターふくおかの増設(39か所→57か所)と土曜開設により利便性の向上を図るとともに、一部センターに介護予防の専任職員をモデル配置

☆介護保険制度改正への対応【76,276】(保福)

NPOやボランティアを含む多様な担い手による要支援者の在宅生活を支える多様なサービス提供の実現に向け、モデル事業などを実施



ICTを活用した取組み

★地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業【89,500】(保福)

行政がもつ保健・福祉・医療等に関する情報を集約・分析し、高齢者が効果的、効率的に医療や介護、生活支援等のサービスを受けられる仕組みを構築

★ICT活用による要介護高齢者在宅生活支援モデル事業【13,538】(保福)

ICTを活用し、単身高齢者等の見守りに必要な情報の収集・活用など、要介護高齢者の在宅生活支援のためのモデル事業を実施



安全・安心で、人にやさしいまちづくり

- ★みんながやさしい, みんなにやさしい区役所づくり【5,719】(市民)
区役所のすべての所属にサービス介助士の資格をもつ職員を配置
- ☆「ユニバーサル都市・福岡」の推進【21,500】(総企)
ユニバーサルデザインの普及啓発や, 都心部へのベンチ設置など, 市民・地域, 企業等と共働したユニバーサルデザインのまちづくりを推進
- ・公共交通バリアフリー化促進事業【79,156】(住都)
ノンステップバス導入や鉄道駅等のバリアフリー化整備に係る経費を助成
- ☆避難支援対策の充実強化【16,422】(市民)
土砂災害ハザードマップの作成及び警戒避難体制の充実・強化, 防災アプリ活用のための市防災マップ等のデジタル化
- ★帰宅困難者対策のための計画策定【12,232】(市民)
災害時において天神・博多駅周辺地区で発生するおそれのある帰宅困難者への対策等を推進する『都市再生安全確保計画』を策定
- ・天神・中洲地区の放置自転車対策の強化【28,999】(道下)
天神地区では渡辺通り周辺の重点的な撤去を引き続き実施し, 中洲地区では地域, 警察と連携した啓発活動や夜の撤去を引き続き実施
- ☆モラル・マナー向上市民啓発(パトなび)【109,381】(市民)
自転車安全利用の啓発等を行う推進員の巡回指導の強化
- ・地域防犯活動の支援【4,950】(市民)
地域防犯パトロールカーの普及促進のため, 燃料費の一部助成を実施
- ★福岡市消防救急基金の創設【61,100】(消防)
消防・救急需要の増加や多様化に的確に対応するための基金を創設し, 市民等からの寄付金を積立て



障がい児・者福祉の推進

- ★発達障がい児・者支援事業【850】(保福)
幼児期から成人期までのライフステージに応じた, 一貫した発達障がい児・者への支援のあり方を検討
- ☆強度行動障がい者支援事業【54,468】(保福)
支援拠点における24時間体制での集中支援や, 支援者養成のための研修等を実施
- ☆特別支援学校校舎等施設整備【83,463】(教委)
特別支援学校2校の増築に向けた設計及び仮設校舎整備等により, 教室不足に対応

コミュニティづくりの応援

- ★農山漁村地域など市街化調整区域の活性化【10,000】(総企)
農山漁村地域など市街化調整区域の活性化に向けた地域主体の取組みを支援, 提案公募による活性化事業の検討・実施
- ★市街化調整区域における定住化対策【2,000】(住都)
地域コミュニティの維持・活性化を図るため, 地域の定住化促進に係る取組みを支援
- ☆地域デビュー応援事業【41,044】(市民)
地域住民同士の交流の「きっかけづくり」に加え, 地域住民が自由に通える「交流の場」づくりを支援し, 継続的な交流や日常的な関係づくりを促進



2 特区を活かした次のステージの都市づくり（福岡が九州・日本の成長を牽引）

国から指定を受けた「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」ならではの規制緩和等のメリットを十分に活かして、チャレンジしやすい環境を整えることで、国内外からチャレンジしたい人が集い、市民等との活発な交流により、新たな発想・価値を生み続ける都市づくりに取り組んでいきます。

★：新規 ☆：拡充 （単位：千円）

スタートアップしやすい街

- ☆スタートアップカフェの運営及び機能強化【68,252】（経観文）
外国語対応機能の拡充及び運営体制の強化
- ★アクティブシニアの創業・就業支援【11,130】（保福）
産学官連携の推進組織を設置し、高齢者の意向や特性を踏まえた創業・就業支援策を実施
- ☆女性の創業チャレンジ支援【4,421】（市民）
起業を目指す女性向けのセミナー・交流会の実施や、先輩女性起業家による相談対応
- ★創業初期の企業の発掘・成長支援事業【10,000】（経観文）
今後高い成長性が見込まれる創業初期の地元企業を発掘し、その成長を支援
- ★U/Iターン促進事業【10,320】（経観文）
IT、コンテンツ等のクリエイティブ関連分野の人材の福岡へのU/Iターン促進セミナーや企業とのマッチング等
- ・フクオカ・グローバルベンチャー・アワーズ【9,000】（経観文）
ベンチャー企業のグローバル化のためのビジネスプランコンテストの実施
- ・福岡市創業者応援団事業【5,119】（経観文）
地場経営者・専門家と共働り、ビジネスプラン相談会や交流会、ステップアップ助成事業等を実施
- ・スタートアップ都市推進協議会関連事業【2,218】（経観文）
スタートアップ推進に共感する自治体と連携し、全国のロールモデルとなる取り組みを実施
- ・インキュベート事業【137,648】（経観文）
創業促進のため低廉な使用料の事務所を提供（博多、百道浜等）



がんばる地場企業を応援する街

- ★中小企業・スタートアップ企業マッチング事業【22,600】（経観文）
既存中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベント（フクオカ・スタートアップ・セレクション）を福岡市内で開催
- ☆マッチング商談会の拡充【4,000】（経観文）
首都圏等の大手・中堅企業のバイヤーを福岡市内に招き、地場中小企業との商談会を開催
- ★商店街空き店舗における創業応援事業【8,557】（経観文）
若者の創業に向けた講座の開催や、商店街の空き店舗への出店経費の助成
- ★商店街活性化パートナー発掘事業【2,458】（経観文）
商店街と民間企業などの外部人材との連携、新しいアイデア提案による商店街活性化のための事業に対して経費を助成

チャレンジする人材を育む街

- ★アントレプレナーシップ教育～ふくおか立志応援プロジェクト～【10,855】（教委）
起業家による社会人講話を小中学校で実施するなどチャレンジマインド教育を推進、ふくおか立志応援文庫を全小中学校に設置
- ★長期インターンシップ推進事業【3,000】（経観文）
企業等で行う学生の長期インターンシップを大学等、関係団体とともに支援
- ・留学生支援事業【15,300】（総企）
スタートアップ奨学金（日本人大学生向け）、留学生向け奨学金の支給を実施
- ・デジタルコンテンツクリエイター育成事業【4,614】（経観文）
フリーター等を対象に、WEBデザイン等の講座とインターンシップ等による正社員就職支援を実施

MICEで賑わい、潤う街

- ★国家戦略特区MICE推進事業【14,000】(経観文)
国家戦略特区を活用し、エリアマネジメント団体と連携して道路を活用したイベント(ストリートパーティ)等を実施



- ☆ライオンズクラブ国際大会2016準備事業【59,640】(経観文)
平成28年6月の大会開催に向けた受入準備やPR等
- ☆国際スポーツ大会等の開催・受入支援【10,949】(市民)
ラグビーワールドカップ2019の招致に関する事業を実施するとともに、2015年世界陸上競技選手権大会(中国北京)におけるイギリス陸上競技連盟の事前合宿を受入

外国人も暮らしやすい街

- ★医療の国際化に関する事業【14,592】(保福)
外国人からの医療に関する問合せ対応や、医療機関への通訳派遣などによる外国人向け医療環境の整備等
- ☆在住外国人の生活環境整備事業【25,844】(総企)
生活ルールやマナーの紹介、市民とのコミュニケーションを円滑にするための日本語教室の実施、区役所窓口への語学ボランティアの派遣等
- ☆子ども日本語サポートプロジェクト【28,058】(教委)
日本語指導員の指導時間を拡充するなど、サポート機能を充実
- ☆外国人への情報提供の強化【3,304】(市長室)
民間情報誌活用に加え、生活ガイドWeb版の多言語対応等により情報発信を強化
- ★地域と外国人学生の縁結び事業【1,830】(市民・南区)
地域との共存のため、外国人学生の母国の文化や言語を地域住民が学ぶ交流会開催や、地域行事への外国人学生の参加促進

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

新しいものやサービスが生まれる街

- ☆水素リーダー都市プロジェクト【23,540】(経観文)
下水バイオガスによる世界初の水素ステーションを核とした先進的なプロジェクトへのチャレンジや燃料電池自動車(FCV)の導入推進等による産業化の促進
- ★行政課題の解決に向けたイノベーション提案の仕組みづくり【5,000】(総企)
行政課題の解決に民間企業等のアイデアを導入する手法の検討
- ☆トライアル発注認定事業【3,474】(経観文)
地場中小企業が開発した優れた新商品やサービスを福岡市が認定し、積極的にPRするとともに、出展支援や庁内利用の推進等により、販路開拓を支援
- ★二枚貝完全養殖チャレンジ事業【7,200】(農水)
”砂ゼロアサリ”の完全養殖に向けた陸上での試験養殖をスタートし、新たな輸出戦略商品を開発するとともに、アサリ種苗の供給を目的とした調査研究
- ・イノベーション創出支援事業【33,900】(総企)
福岡の多様な人材と域内外の企業が共に新規ビジネスを創出するプロジェクトを支援

アジア・世界とつながる街

- ・アジアンパーティの開催【178,551】(経観文・総企)
「アジアと創る」をコンセプトに、アジアとクリエイティブをテーマとした各種事業を一体的に開催
- ☆国際貢献・協力を通じたビジネス展開【26,495】(総企)
海外からの視察・研修の受入や職員派遣により福岡のまちづくりを広く紹介するとともに、官民連携したODA案件等の受注をめざして、ビジネス展開を推進
- ★留学生ネットワーク構築事業【19,920】(総企)
留学生、大学、外国公館が多い福岡の特徴を活かしたイベント「グローバルコミュニティ FUKUOKA」の開催

3 さらなる成長を見据えた機能・供給力の向上(次の世代に遺す福岡を)

都心部をはじめとする各エリアにおいて地区の特性を磨き、コントラストのあるまちづくりや、集客・産業基盤の強化に取り組むとともに、市民に身近な公共施設等の機能更新を着実にを行い、さらなる成長を見据えて次の世代に遺す福岡づくりに取り組んでいきます。

都心部のまちづくり

☆都市再生の推進【48,291】(住都)

民間開発の適正誘導や公共用地等の活用検討など、官民一体となった都心部の機能強化と魅力づくり(天神明治通り地区地下通路の設計検討、旧大名小学校跡地まちづくり構想検討等)

★博多駅駐車場跡地への上空デッキ整備【4,413】(道下)

駐車場跡地を活用して整備されるバス乗降場と博多駅とを直結する歩行者用上空デッキの概略設計



・都心部とウォーターフロントとの交通アクセス強化の検討【10,000】(住都)

天神・渡辺通, 博多駅周辺, 博多ふ頭・中央ふ頭の3地区のアクセス強化のため、公共交通の定時性・速達性・輸送効率向上に向けた調査・検討

☆界わい性を活かした魅力ある回遊空間の創出検討【8,000】(住都・道下)

地区の特性を活かした魅力ある界わいルートの形成による快適で高質な都心回遊空間の創出の検討を実施

・屋台営業のための環境整備【20,941】(道下, 住都)

屋台営業の適正化等に向けた給水装置や汚水桝等の整備を実施

産業基盤の整備

・新青果市場整備事業【762,069】(農水)

平成27年度末に移転開場予定の新青果市場の整備

★博多漁港の高度衛生管理【53,064】(農水)

高度衛生管理基本計画に基づく荷さばき所等の施設整備

☆博多港港湾計画の改訂【110,404】(港湾)

港湾計画の改訂に係る船舶航行安全の検討や環境影響評価等の実施

・港湾機能の強化【881,215】(港湾)

東航路及び中央航路の整備, 国際・国内ROROターミナルの整備

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

ウォーターフロントの機能強化

☆中央ふ頭クルーズセンター供用開始【335,335】(港湾)

中央ふ頭先端部におけるクルーズセンターの運営, 歩行者シェルター整備等

☆ウォーターフロントの再整備の推進【12,870】(総企)

ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)再整備計画の策定, 市民や民間事業者に対する広報啓発の実施

☆国内を代表するコンベンション拠点の形成【109,757】(経観文)

コンベンションゾーンにおける第2期展示場等の整備やホテル・にぎわい施設等の誘致に向けた調査・検討

★ウォーターフロント地区再整備関連の道路整備【23,400】(道下)

ウォーターフロント地区の再整備に伴う, 都市計画道路築港石城町線の整備に向けた調査等



交通機能の強化

・地下鉄七隈線延伸事業【1,985,000】(交通)

地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)について, 土木本体工事等を着実に推進(H32年度開業予定)

・福岡空港整備事業費負担金【363,647】(経観文)

国が実施する福岡空港整備事業の地方負担

・アイランドシティ自専道【46,000】(道下)

自動車専用道路アイランドシティ線の事業化に向けた設計等

・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近)【2,321,718】(道下)

西鉄天神大牟田線雑餉隈駅付近の連続立体交差化(H32年度高架切替予定)



身近な公共施設の機能更新・充実

☆総合体育館整備【10,946】(市民)

市民のスポーツ拠点となる総合体育館の整備に向けたPFI事業者の選定等(H30年度開館予定)

☆美術館リニューアル事業【56,105】(経観文)

美術館のリニューアルに向けたPFI事業者の選定等(H30年度開館予定)

・中央児童会館等建替え整備【319,944】(こども)

中央児童会館等の建替え整備における、内装工事や備品購入、指定管理者の選定等を実施(H28年度供用開始予定)



☆(仮称)青少年科学館整備【59,039】(こども)

(仮称)青少年科学館の整備に向けた、事業者の選定等を実施(H29年度開館予定)

☆学校規模適正化事業【2,357,180】(教委)

住吉中ブロック小中連携校開校、壱岐小・名島小の体育館改築等、平尾小の校地拡張に向けた用地取得等による教育環境整備等

☆小学校の新設【88,111】(教委)

伊都土地地区画整理事業地内の小学校新設(H29年4月開校)、照葉小学校の分離新設に向けた基本構想、基本計画・基本設計に着手

☆学校給食センター再整備事業【905,157】(教委)

第2センターの建設(H28年度開設予定)、第3センターの整備計画策定等

新たな拠点施設の整備・検討

☆香椎副都心公共施設整備【4,588,406】(市民・教委・経観文)

千早駅前に市民センター、図書館、音楽・演劇練習場等の機能を有する公共施設を整備(H28年度上期開館予定)

・地域交流センター検討(早良区)【12,258】(市民)

地域交流センターの整備のための調査・検討、基本構想・基本計画の策定

★南区における市民サービス拠点施設整備の検討【2,853】(総企)

南区における拠点施設整備の検討を行うため、地域特性の調査等を実施

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

災害に強いまちづくり

☆中央区における消防・救急体制の強化【55,845】(消防)

災害即応体制の強化と、都心部における救急需要への対応等を図るため、中央消防署を移転整備(H30年度供用開始予定)

☆福岡都市圏消防共同指令センターの整備【379,740】(消防)

福岡都市圏における119番指令センターの共同運用化に伴うシステムの整備等(H29年度運用開始予定)

☆民間建築物耐震化促進事業【144,183】(住都)

住宅や建築物の耐震化を促進するため、耐震診断・改修工事等への助成や出前講座等の啓発活動を実施

憩いの空間の充実

・回遊促進公園整備等事業【170,000】(住都)

水上公園など回遊軸上の公園や街路樹の魅力向上による都心部の回遊機能の充実・強化

☆春吉橋賑わい空間の創出【390,000】(道下)

国道202号春吉橋架替の迂回路橋を活用した賑わい空間づくり等

★歴史的建築物の活用【9,322】(住都)

歴史的建築物を良好な状態で保存・活用するための基準緩和に係る審査・登録や高宮南緑地(旧高宮貝島邸)の保全・活用の民活導入に向けた検討等

・セントラルパーク構想推進事業【112,662】(住都)

基本計画の策定や福岡城さくらまつりの開催等、大濠公園と舞鶴公園の一体的活用による憩いと集客の拠点づくり

☆野鳥公園の検討【30,715】(港湾)

エコパークゾーンにおける野鳥公園の基本設計等を実施



創業を促し、再チャレンジを応援する都市

■創業の生態系をつくる

【規制改革等】

- ・雇用労働相談センター
- ・外国人創業人材の創業促進(国会に法案提出予定)
- ・法人設立手続きの簡素化・迅速化(国会に法案提出予定)
- ・雇用保険給付の拡大(全国で運用を明確化)
- ・随意契約要件の緩和(国において検討中)
- ・インターンシップの活用(国において検討中)
- ・スタートアップに着目した法人課税など(一部, 国会に法案提出予定)

☆スタートアップカフェの運営及び機能強化【68,252】(経観文)

外国語対応機能の拡充及び運営体制の強化



★アクティブシニアの創業・就業支援【11,130】(保福)

産学官連携の推進組織を設置し、高齢者の意向や特性を踏まえた創業・就業支援策を実施

☆女性の創業チャレンジ支援【4,421】(市民)

起業を目指す女性向けのセミナー・交流会の実施や、先輩女性起業家による相談対応



★創業初期の企業の発掘・成長支援事業【10,000】(経観文)

今後高い成長性が見込まれる創業初期の地元企業を発掘し、その成長を支援

★U/Iターン促進事業【10,320】(経観文)

IT, コンテンツ等のクリエイティブ関連分野の人材の福岡へのU/Iターン促進セミナーや企業とのマッチング等

・福岡市創業者応援団事業【5,119】(経観文)

地場経営者・専門家と共働り、ビジネスプラン相談会や交流会、ステップアップ助成事業等を実施

・インキュベート事業【137,648】(経観文)

創業促進のため低廉な使用料の事務所を提供(博多, 百道浜等)

・イノベーション創出支援事業【33,900】(総企)

福岡の多様な人材と域内外の企業が共に新規ビジネスを創出するプロジェクトを支援

■創業の大きな成長モデルをつくる

★中小企業・スタートアップ企業マッチング事業【22,600】(経観文)

既存中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベント(フクオカ・スタートアップ・セレクション)を福岡市内で開催

・フクオカ・グローバルベンチャー・アワーズ【9,000】(経観文)

ベンチャー企業のグローバル化のためのビジネスプランコンテストの実施

■チャレンジする人材を育てる

★アントレプレナーシップ教育～ふくおか立志応援プロジェクト～【10,855】(教委)

起業家による社会人講話を小中学校で実施するなどチャレンジマインド教育を推進, ふくおか立志応援文庫を全小中学校に設置

★国際教育礎プラン【28,630】(教委)

小中高連携推進モデル地区を設置し, 連携専任の英語教員を配置するなど, 英語教育を充実

福岡発の新しい価値
を生み出す取組み

次世代エネルギー社会プロジェクト

☆水素リーダー都市プロジェクト【23,540】(経観文)

下水バイオガスによる世界初の水素ステーションを核とした先進的なプロジェクトへのチャレンジや燃料電池自動車(FCV)の導入推進等による産業化の促進



ICT活用リーディングプロジェクト

★ICT活用による要介護高齢者在宅生活支援モデル事業【13,538】(保福)

ICTを活用し, 単身高齢者等の見守りに必要な情報の収集・活用など, 要介護高齢者の在宅生活支援のためのモデル事業を実施

九州の農水畜産物と食プロジェクト

★二枚貝完全養殖チャレンジ事業【7,200】(農水)

”砂ゼロアサリ”の完全養殖に向けた陸上での試験養殖をスタートし, 新たな輸出戦略商品を開発するとともに, アサリ種苗の供給を目的とした調査研究

民間アイデア導入プロジェクト

★行政課題の解決に向けたイノベーション提案の仕組みづくり【5,000】(総企)

行政課題の解決に民間企業等のアイデアを導入する手法の検討

ビジネスが世界と容易につながる自由都市

■MICEイノベーション創出環境をつくる

【規制改革等】

- ・エリアマネジメントに係る道路法の特例
- ・古民家等の歴史的建築物の活用

★国家戦略特区MICE推進事業【14,000】(経観文)

国家戦略特区を活用し、エリアマネジメント団体と連携して道路を活用したイベント(ストリートパーティ)等を実施

★歴史的建築物の活用【9,322】(住都)

歴史的建築物を良好な状態で保存・活用するための基準緩和に係る審査・登録や高宮南緑地(旧高宮貝島邸)の保全・活用の民活導入に向けた検討等

☆新しいMICEワンストップ体制の運営【71,720】(経観文)

「Meeting Place Fukuoka」による戦略的な国際会議等の誘致やビジネスコーディネートの実施等

☆国内を代表するコンベンション拠点の形成【109,757】(経観文)

コンベンションゾーンにおける第2期展示場等の整備やホテル・賑わい施設等の誘致に向けた調査・検討

☆中央ふ頭クルーズセンター供用開始【335,335】(港湾)

中央ふ頭先端部におけるクルーズセンターの運営、歩行者シェルター整備等

■世界とつながるビジネスを集積する

【規制改革等】

- ・雇用労働相談センター(再掲)
- ・アジアビジネス促進・支援事業【9,214】(経観文)
商談会、物産展、セミナーの開催などにより、地場中小企業の海外市場への販路拡大や外国企業とのビジネス連携を支援
- ・外国企業等誘致推進事業【27,384】(経観文)
海外の現地情報収集や経済交流による外国企業の誘致、本市進出のサポートを実施
- ・ジェットロ等との連携による対日投資促進事業【4,770】(経観文)
ジェットロや政府等と連携したプロモーション活動を通じて、福岡市への企業立地を促進



グローバルビジネスを呼び込む高機能都市

■グローバル人材が住みやすい生活環境をつくる

【規制改革等】

- ・病床規制の特例(検討中)
- ・外国医師の業務解禁(検討中)

★医療の国際化に関する事業【14,592】(保福)

外国人からの医療に関する問合せ対応や、医療機関への通訳派遣などによる外国人向け医療環境の整備等

☆在住外国人の生活環境整備事業【25,844】(総企)

生活ルールやマナーの紹介、市民とのコミュニケーションを円滑にするための日本語教室の実施、区役所窓口への語学ボランティアの派遣等

☆子ども日本語サポートプロジェクト【28,058】(教委)

日本語指導員の指導時間を拡充するなど、サポート機能を充実



■世界で活躍する企業や人材をひきつけるビジネス環境をつくる

【規制改革等】

- ・航空法高さ制限のエリア単位での特例承認
- ・(職住近接型住宅の)容積率の特例(検討中)
- ・福岡空港整備事業費負担金【363,647】(経観文)
国が実施する福岡空港整備事業の地方負担
- ☆ウォーターフロントの再整備の推進【12,870】(総企)
ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)再整備計画の策定、市民や民間事業者に対する広報啓発の実施
- ・地下鉄七隈線延伸事業【1,985,000】(交通)
地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)について、土木本体工事等を着実に推進(H32年度開業予定)
- ☆都市再生の推進【48,291】(住都)
民間開発の適正誘導や公共用地等の活用検討など、官民一体となった都心部の機能強化と魅力づくり(天神明治通り地区地下通路の設計検討、旧大名小学校跡地まちづくり構想検討等)

Ⅱ-1 行財政改革の推進

平成25年6月に策定した「行財政改革プラン」に基づき、効率的で筋肉質な市役所をめざし、「市民の納得と共感」、「チャレンジする組織改革」、「健全な財政運営」の取組みを進めます。

市民の納得と共感

★市ホームページの改善・充実【18,779】(市長室)

誰もが利用しやすいホームページを目指しデザイン等見直しの検討・実施

★マイナンバー制度の推進【561,298】(総企等)

社会保障・税番号制度に対応するためのシステム改修

★ICカードの活用に関する調査研究【12,534】(総企)

ICカードを活用した市民活動を促進するポイント制度の検討

★住民票等の不正取得を抑止するための本人通知【5,440】(市民)

第三者へ住民票等を交付した時の本人への通知制度(事前登録)の導入

★みんながやさしい、みんなにやさしい区役所づくり【5,719】(市民)

区役所のすべての所属にサービス介助士の資格をもつ職員を配置

★外国人への情報提供の強化【3,304】(市長室)

民間情報誌活用に加え、生活ガイドWeb版の多言語対応等により発信強化

★外国人サポート事業(通訳翻訳)【402】(東区)

タブレット端末翻訳アプリを活用した通訳サービスの実施(感染症情報等)

チャレンジする組織改革

★システム刷新【197,725】(総企)

基幹系システムの刷新に向けた、現行業務プロセスの見直し作業等

★女性職員の活躍推進【3,842】(総企)

キャリア形成に向けた研修、男女共に仕事と家庭の両立に向けた意識改革・組織風土づくりを行うための取組みの実施

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

健全な財政運営

★背振少年自然の家・海の中道青少年海の家指定管理者導入(こども)

サービス向上及び運営コストの縮減に向け指定管理者制度を導入

★松濤園に代わる複合福祉施設の整備【593,254】(保福)

市立松濤園の廃止に伴う民間活力による福祉施設の整備を推進

★福岡市民防災センター(消防)

(公財)福岡市防災協会を廃止し、27年4月から市の直営管理を開始

★直営ごみ収集の民間委託化(環境)

市有施設のごみ収集に民間委託を一部導入

★市営渡船事業特別会計の経営改善(港湾)

志賀島航路の運航体制等の見直し

★長期的施設整備のあり方検討【15,347】(環境)

将来的な廃棄物処理施設整備の検討を実施するための基礎調査

★電力システム改革対策プロジェクト【7,640】(環境)

市有施設における電気の最適な売買方策等の調査検討

★市税のクレジットカードによる納付方法の導入【16,407】(財政)

クレジットカードによる納付方法を導入するためのシステム改修等

Ⅱ-2 健全な財政運営のための取組み (1) 財源の確保

- ◇「行財政改革プラン(H25.6策定)」に基づき、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、「歳入の確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めており、27年度当初予算においては約85億円の財源を確保しました。
- ◇26年度及び27年度の取組みと、その28年度までの累積効果や財源対策(財政調整基金の活用)による財源確保額は、約370億円にのぼると試算しているところであり、引き続き、必要な見直しを着実に進めてまいります。※行財政改革プランに掲げる財源確保目標額:450億円以上〔26～28年度合計〕

財源確保額 8,470百万円

(単位:百万円)

行政運営の効率化

2,490

①人件費の抑制及び組織のスリム化 640

退職手当の引下げ、住居手当(持ち家)の引下げ
 公立保育所の民営化
 学校環境整備業務の執行体制見直し
 区役所警備業務の民間委託化
 直営ごみ収集業務の民間委託化 など

②その他行政運営の効率化 1,850

下水道事業会計における一般会計からの基準外繰出金の縮減
 競艇事業収益の確保による一般会計への繰出金の増
 市営博多駅駐車場用地の有効活用
 市営渡船事業特別会計の経営改善 など

歳入の確保

2,530

①収入・収納率等の向上 1,725

市税収入率の向上 [H26 96.8% → H27 97.4%] など

②市有財産の有効活用等 805

未利用地等の売却
 駐車場の有料化
 再生可能エネルギーの導入 など

その他公共施設の見直し等

3,450

公共施設への指定管理者制度の導入
 ホームヘルプサービス等国県負担率の改善
 就労支援による生活保護費の縮減
 道路・公園占用料の改定 など

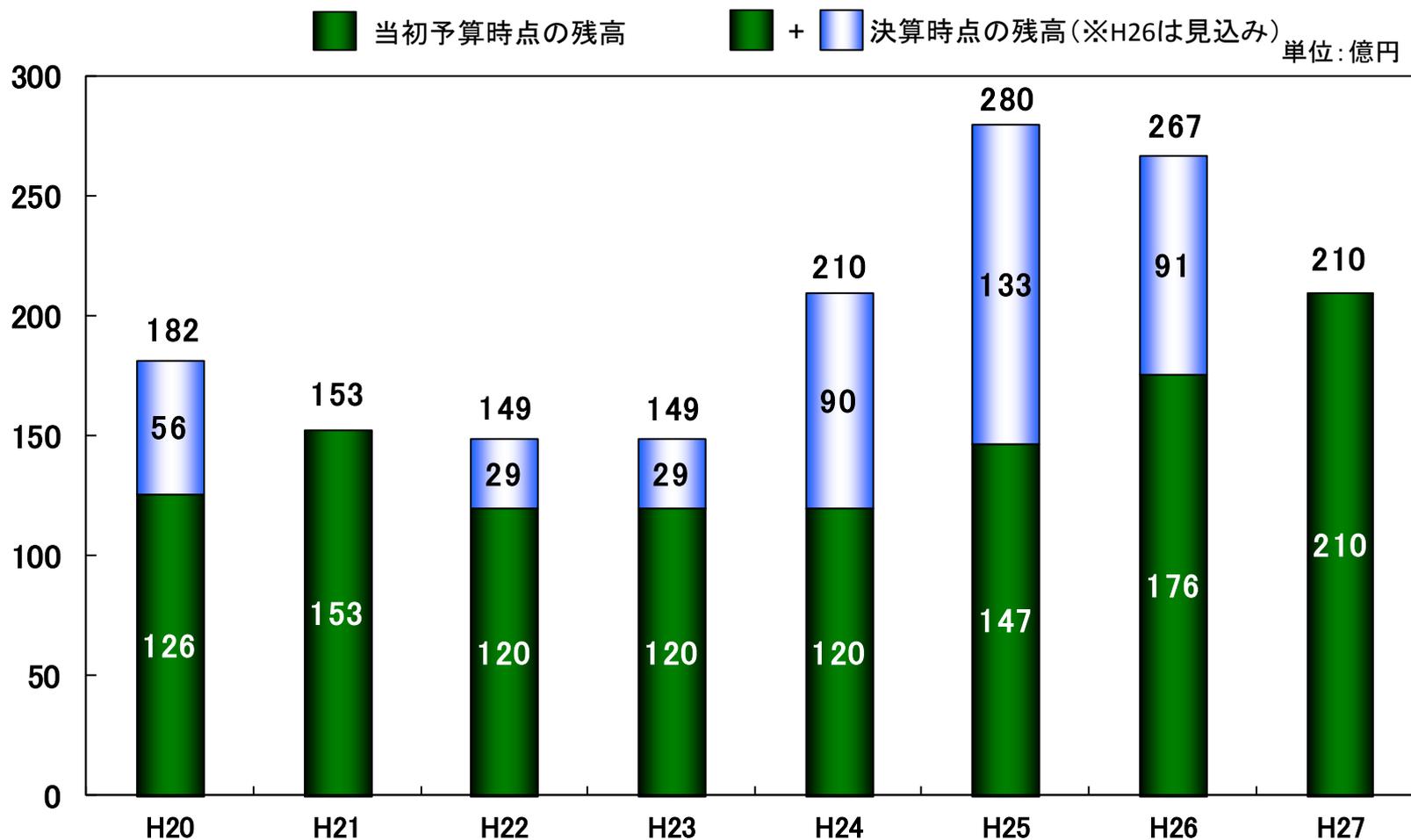


(2) 財政調整用基金の取崩額の抑制

- 当初予算編成時における財政調整基金の取り崩し額を2年連続で縮減（▲5億円）
H26：62億円（▲3億円）、H27：60億円（▲2億円）
- 市債管理基金、庁舎建設等資金積立金の取り崩し抑制も継続

基金名	H25当初予算	H26当初予算	H27当初予算	当初予算時 取崩額比較 ②－①	(参考) H27年度末 残高見込み
	取崩し	取崩し (①)	取崩し (②)		
財政調整基金	▲65億円	▲62億円	▲60億円	▲2億円	126億円
市債管理基金	0億円	0億円	0億円	0億円	53億円
庁舎建設等 資金積立金	0億円	0億円	0億円	0億円	31億円
合 計	▲65億円	▲62億円	▲60億円	▲2億円	210億円

(2) 財政調整用基金の取崩額の抑制



(3) アセットマネジメントの推進 ~公共施設の適切な維持管理の推進~

市有施設を安全・安心に維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「第2次アセットマネジメント実行計画(平成25年6月策定)」に基づき、財政負担の低減・平準化を図りつつ、施設の状態等に応じた適切な維持管理を推進します。

〔効果的な改修工事の実施〕

- ①全ての施設において、過去の修繕履歴や技術職員による現地調査等を踏まえ実施
【外壁、屋上などの改修を予定する公民館、体育館など約20施設】
- ②大規模施設の改修については、内容や時期、手法を確認し実施
【博多座、マリンメッセ福岡 等】

計画的・予防的な改修・修繕等による
既存施設の長寿命化等を進め
財政負担を低減・平準化

●事業費

(単位:億円)

区分	平成25年度当初予算	平成26年度当初予算	平成27年度当初予算	差引 (27当初-26当初)
一般会計	270	353	383	30 (8%増)
全会計	540	670	741	71 (11%増)

※上記事業費には政策的経費にて計上されている大規模施設の移転改築等に要する事業費は含まない。

【主な取組み】

①施設の長寿命化

- ・市営住宅の長寿命化【1,200,193千円】
住宅の外壁や屋上防水を計画的に改修
- ・橋梁の長寿命化【263,640千円】
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先順位の高い橋梁を改修

②施設の機能維持

- ・道路大規模修繕【975,286千円】
アセットマネジメント基本方針に基づき、優先順位の高い道路を補修
- ・校舎等の大規模改造(22校)【3,712,532千円】

③ニーズへの対応

- ・市営住宅の改善【3,029,231千円】
安全性、高齢者対策などの水準が低い住宅の住戸改善、耐震改修等

④改築・更新の実施

- ・公民館改築【1,202,106千円】
100坪館の150坪館への建替5館(内26年度からの継続2館)、建替のための設計3館等
- ・公園再整備(26公園)【703,913千円】
利用実態調査、老朽度調査を行い策定した再整備計画に基づく公園の整備
- ・市営住宅の建替【6,256,931千円】
老朽化した住宅の建替(27年度339戸建設着手)

- ①長寿命化・・・構造躯体を耐用年限まで使い切るために必要な内外装・設備などの改修・補修
- ②機能維持・・・老朽化などにより所要の性能が発揮できなくなった機能を回復するために行う改修等
- ③ニーズへの対応・・・耐震改修やバリアフリー化など社会状況の変化に伴い必要となる機能追加や安全性向上のために行う改修
- ④改築・更新・・・耐用年限を迎えた施設や陳腐化・老朽化で目的を果たせない施設で継続して設置することが必要な施設の改築・更新

3 市債残高の着実な縮減

(1) 市債発行額の抑制

①市債発行額（一般会計）

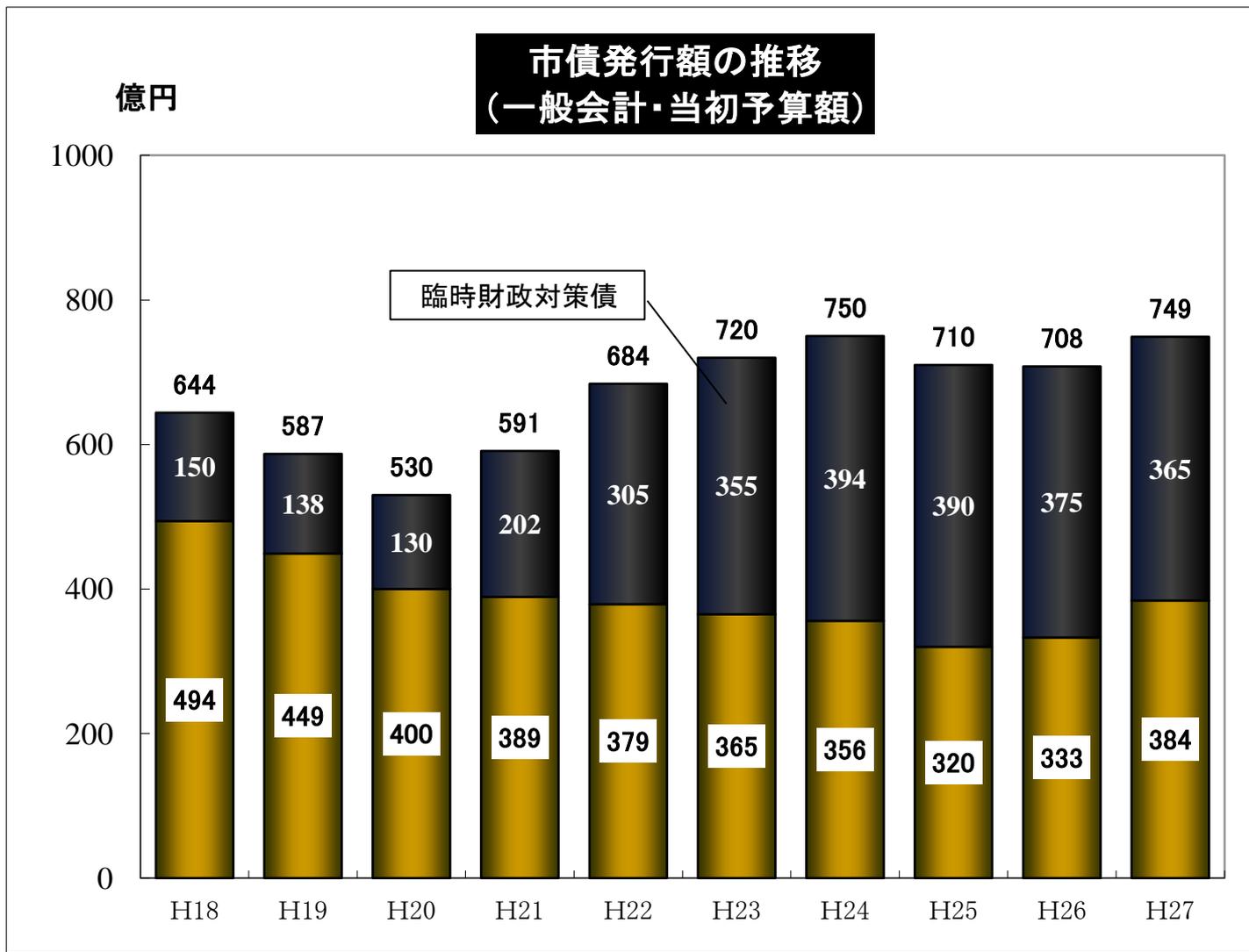
- 学校施設空調整備事業等により市債発行額は増加するものの、臨時財政対策債の発行額を3年連続で減少（▲29億円）

H25：390億円（▲4億円） H26：375億円（▲15億円） H27：365億円（▲10億円）

	H26	H27	増減額
市債発行額	億円 708	億円 749	億円 40
うち臨時財政対策債	375	365	▲ 10

※億円未満は四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

②市債発行額の推移



(2) 市債残高の縮減

① H27年度末市債残高の状況

- 一般会計はH26年度末と比べ縮減（▲53億円）
- 全会計ではH26年度末と比べ縮減（▲363億円）
- 全会計でピーク時のH16年度末より3,066億円縮減（▲11.3%）

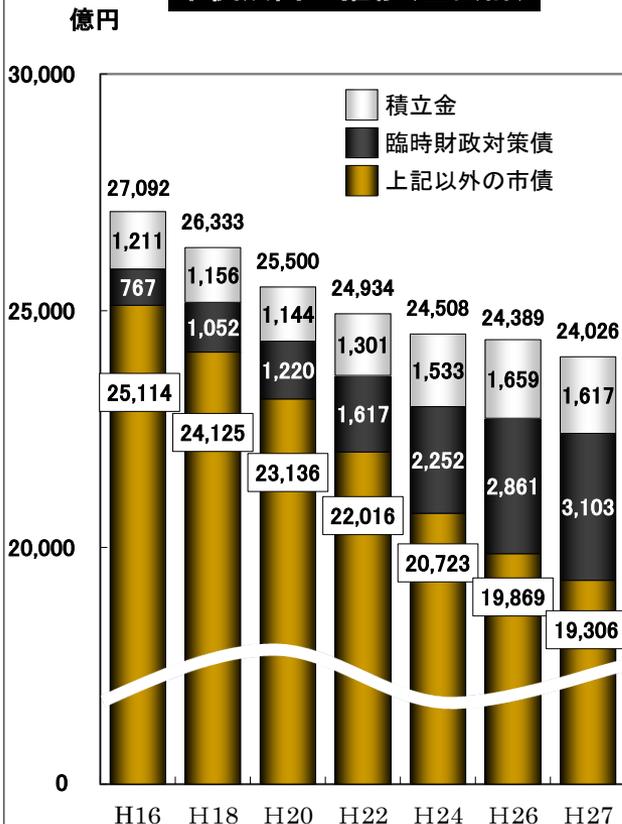
	H16	H26	H27			差し引き (B)－(A)
	年度末 残高	年度末 残高(A)	新規発行	市債償還	年度末 残高(B)	
一般会計	億円 12,928	億円 12,216	億円 749	億円 ▲ 801	億円 12,164	億円 ▲ 53
全会計	27,092	24,389	1,148	▲ 1,511	24,026	▲ 363

※億円未満は四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

②市債残高の推移

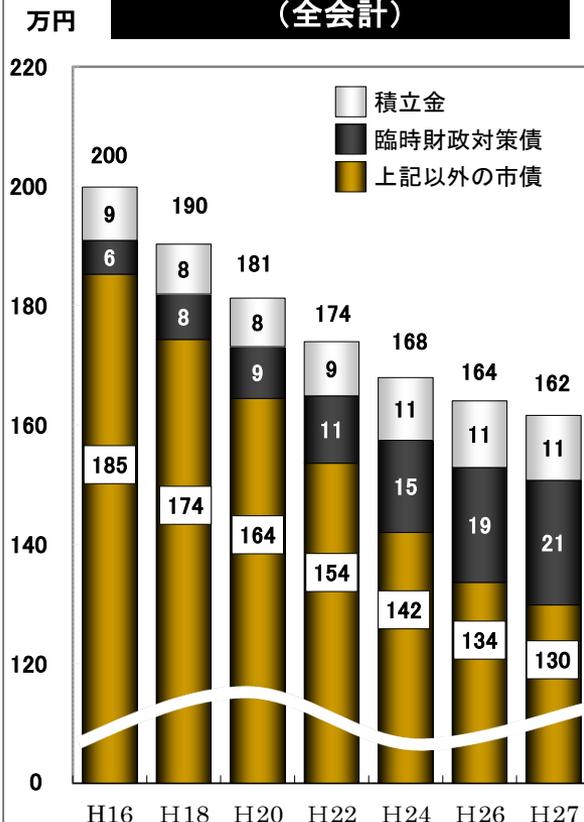
H27年度末の市債残高見込額(全会計)から、①既に償還財源を積立てた積立金と、②国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、市債残高(全会計)のピーク時のH16年度末から5,808億円減少し、1兆9,306億円となり、2兆円を割り込む水準にあります。また、その市民一人当たり市債残高見込額(全会計)は、H16年度末から約55万円減少し、約130万円となります。

市債残高の推移(全会計)



※H24までは決算ベース、H26は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、H27は当初予算ベース

市民一人当たり市債残高の推移(全会計)



※H24までは決算ベース、H26は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、H27は当初予算ベース

※H24までは各年度末現在、H26,27は平成27年1月末現在の登録人口

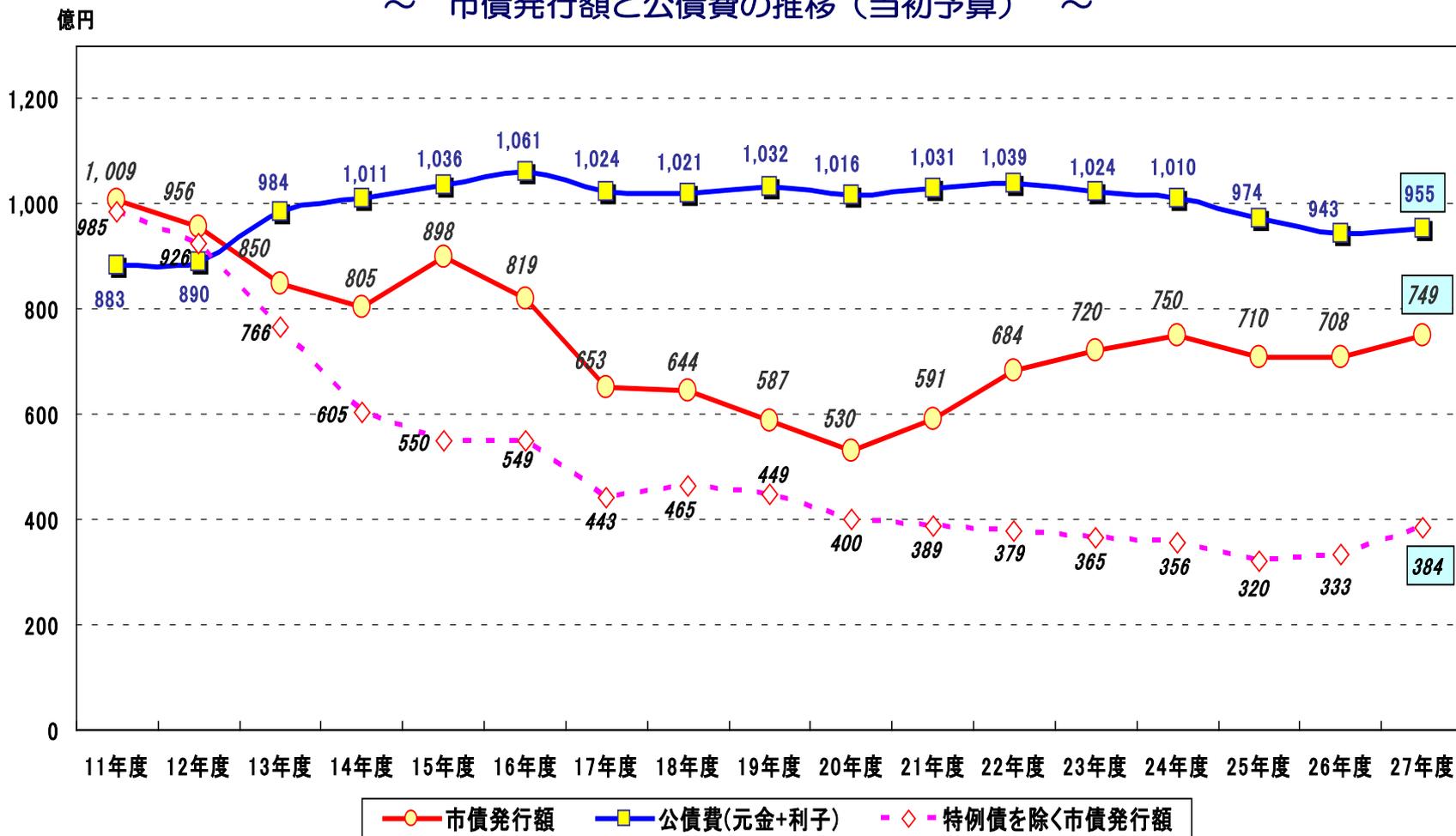
平成27年度末残高の見込み

- 一般会計
約 1兆2,164億円(▲ 53億円)
 - 特別会計
約 2,208億円(▲ 35億円)
 - 企業会計
約 8,037億円(▲ 234億円)
 - 積立金
約 1,617億円(▲ 41億円)
-
- ◇ 全会計
約 2兆4,026億円(▲ 363億円)

※()は平成26年度末残高見込みとの差

<参考>市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～ 市債発行額と公債費の推移（当初予算） ～



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行された市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18）、臨時税収補てん債（H9））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- 一般会計は、就学前児童の教育・保育給付費、障がい児・者の施設給付などの社会保障関係費や公共施設等の改修・修繕等に要する経費が引き続き増加することなどにより、+0.7%
- 全会計合計では、企業会計における予算規模の減などにより、▲0.6%

※ 以下、詳細は別添資料「平成27年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区分	H27	H26	増減額	伸率(%)
一般会計	7,820億円	7,763億円	56億円	0.7
特別会計	8,784億円	8,786億円	▲2億円	▲0.0
企業会計	2,487億円	2,655億円	▲168億円	▲6.3
合計	1兆9,090億円	1兆9,204億円	▲114億円	▲0.6

2 予算案のポイント

○一般会計

<歳入>

- ・市税収入は、納税義務者数の増加による個人市民税の増や土地評価額の上昇に伴う固定資産税の増等が見込まれるものの、法人市民税法人税割の一部国税化に伴う税率引き下げ等により、全体としては26年度当初をやや下回る。
- ・消費税率引き上げ影響の平年度化により地方消費税交付金は増加。
- ・地方消費税交付金の増加等に伴い、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は減少。
- ・市債発行額は、学校施設空調整備事業等により増加するが、市債残高は一般会計、全会計とも着実に減少。

<歳出>

- ・市民とともに策定した総合計画を着実に推進するため、「優先順位の最適化」を推進
- ・都市の成長の果実を生活の質の向上へ振り向け、人口の増加が続く中で子育て・教育環境の向上や高齢者、障がい者福祉の増進に注力
- ・国家戦略特区というエンジンを活かし、次のステージの都市づくりを推進するとともに、さらなる成長を見据えて機能・供給力の向上を推進
- ・扶助費に医療・介護関連の繰出金・負担金を加えた社会保障関係費は引き続き増加
- ・公共施設等の老朽化に備え計画的に改修・修繕等を行うためのアセットマネジメントに係る経費を増額確保
- ・退職手当の見直し、組織の大括り化等により人件費は総額を抑制

3 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況 (概要)

項目	H27	H26	増減額	伸率(%)
市税	2,744億円	2,759億円	▲15億円	▲0.5
個人市民税	855億円	850億円	5億円	0.5
法人市民税	364億円	387億円	▲23億円	▲6.0
固定資産税	1,087億円	1,083億円	5億円	0.4
その他	438億円	439億円	▲1億円	▲0.2
地方譲与税	63億円	66億円	▲3億円	▲4.7
交付金	352億円	274億円	78億円	28.5
地方消費税交付金	276億円	198億円	78億円	39.6
地方特例交付金	6億円	7億円	▲1億円	▲15.3
地方交付税等	655億円	707億円	▲52億円	▲7.4
地方交付税	290億円	332億円	▲42億円	▲12.7
臨時財政対策債	365億円	375億円	▲10億円	▲2.7
その他	132億円	138億円	▲6億円	▲4.0
合計	3,952億円	3,950億円	2億円	0.1

(1) 一般財源の状況 (ポイント)

※ () 内の増減は対前年比

<総額> 3,952億円 (+2億円)

<市税> 2,744億円 (▲15億円)

- ・個人市民税は納税義務者数の増等により+5億円 (+0.5%)
- ・固定資産税は土地評価額の上昇による増等により+5億円 (+0.4%)
- ・法人市民税は法人税割の一部国税化に伴う税率引き下げ等により▲23億円 (▲6.0%)
※法人税割の税率引き下げの影響 (▲29億円) を除けば+6億円 (+1.6%)

<地方消費税交付金> 276億円 (+78億円)

- ・消費税率引き上げ影響の平年度化による増等
→消費税率引き上げによる増収分は社会保障関係費 (2,473億円) に充当

<地方交付税等> 655億円 (▲52億円)

- ・地方消費税交付金の増加等に伴い、実質的な地方交付税は減少
(地方交付税▲42億円、臨時財政対策債▲10億円)
- ・臨時財政対策債は3年連続で減少 (▲10億円)

<その他>

- ・財政調整基金の取り崩し額は2年連続で縮減 (▲2億円)

(2) 性質別歳出の状況（概要）

項目	H27	H26	増減額	伸率(%)
人件費	793億円	795億円	▲ 3億円	▲ 0.3
扶助費	1,999億円	1,925億円	74億円	3.9
公債費	955億円	943億円	12億円	1.2
義務的経費 計	3,747億円	3,663億円	83億円	2.3
物件費	862億円	834億円	28億円	3.4
補助費等	537億円	533億円	4億円	0.7
普通建設事業費	780億円	741億円	39億円	5.2
補助事業費	481億円	434億円	48億円	11.0
単独事業費	298億円	307億円	▲ 9億円	▲ 2.9
維持補修費	108億円	124億円	▲17億円	▲13.4
貸付金	1,160億円	1,254億円	▲94億円	▲ 7.5
繰出金	556億円	544億円	12億円	2.2
その他	71億円	69億円	2億円	2.3
合計	7,820億円	7,763億円	56億円	0.7

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

＜義務的経費＞ 3,747億円（+83億円）

- 人件費は、退職手当（▲10億円）の見直しなどにより▲3億円
- 扶助費は、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金が減少（▲31億円）するが、就学前児童の教育・保育給付費の増（+68億円）、障がい児・者の施設給付等の増（+25億円）などにより+74億円
- 公債費は、元金の増（+24億円）、利子の減（▲12億円）により+12億円

＜その他＞

- 物件費は、水痘・肺炎球菌ワクチン定期接種化（+6億円）、東部工場改修（+5億円）などにより、+28億円
- 補助費等は、国勢調査報償費（+7億円）、地下鉄事業補助（+8億円）などにより、+4億円
- 普通建設事業費は、学校施設空調整備事業（+35億円）、学校大規模改造（+16億円）などにより、+39億円
- 貸付金は、商工金融資金預託金（▲83億円）、農林水産業金融資金預託金等（▲12億円）などにより▲94億円
- 繰出金は、医療・介護関連の繰出金・負担金の増（介護+8億円、後期高齢+5億、国保+3億円）などにより+12億円

(3) 目的別歳出の状況（概要）

項目	H27	H26	増減額	伸率(%)
総務費	488億円	502億円	▲14億円	▲2.8
こども育成費	1,020億円	957億円	63億円	6.6
保健福祉費	1,985億円	1,960億円	26億円	1.3
環境費	306億円	309億円	▲3億円	▲1.0
経済観光文化費	1,130億円	1,203億円	▲74億円	▲6.1
土木費	419億円	412億円	8億円	1.9
都市計画費	606億円	610億円	▲4億円	▲0.7
港湾費	69億円	74億円	▲5億円	▲7.3
消防費	144億円	142億円	2億円	1.6
教育費	570億円	510億円	59億円	11.6
公債費	960億円	948億円	12億円	1.3
その他	123億円	136億円	▲14億円	▲10.2
合計	7,820億円	7,763億円	56億円	0.7

(3) 目的別歳出の状況（主な増減）

<総務費>

香椎副都心公共施設整備（▲10億円）、市民センター施設整備（▲5億円）、国勢調査（+8億円）

<こども育成費>

就学前児童の教育・保育給付費（+68億円）、障がい児施設給付費等（+10億円）
保育所等整備費助成（+5億円）、子育て世帯臨時特例給付金給付事業（▲12億円）

<保健福祉費>

障がい者施設介護給付費等（+14億円）、医療・介護関連の繰出金・負担金（+16億円）
臨時福祉給付金給付事業（▲20億円）

<経済観光文化費>

博多座維持補修（+8億円）、香椎副都心公共施設整備（音楽・演劇練習場）（+5億円）
商工金融資金預託金（▲83億円）

<土木費>

市営住宅の建替・改善（+14億円）

<消防費>

福岡都市圏消防共同指令センターの整備（+3億円）、福岡市消防救急基金の創設（+1億円）

<教育費>

学校施設空調整備事業（+35億円）、学校大規模改造（+16億円）、学校規模適正化（+15億円）

4 特別会計の状況（概要）

項目	H27	H26	増減額	伸率(%)
後期高齢者医療	169億円	164億円	5億円	3.0
国民健康保険事業	1,688億円	1,465億円	223億円	15.2
介護保険事業	936億円	896億円	40億円	4.5
中央卸売市場	80億円	76億円	4億円	5.0
港湾整備事業	138億円	199億円	▲61億円	▲30.8
公共用地先行取得	2億円	40億円	▲39億円	▲95.8
市営競艇事業	842億円	842億円	—	0.0
市立病院機構 病院事業債管理	21億円	143億円	▲122億円	▲85.3
市債管理	4,786億円	4,836億円	▲50億円	▲1.0
その他	121億円	123億円	▲2億円	▲1.4
合計	8,784億円	8,786億円	▲2億円	▲0.0

4 特別会計の状況（主な増減）

- ＜後期高齢者医療＞ 広域連合への納付金（+5億円）
- ＜国民健康保険事業＞ 共同事業拠出金（+228億円）
- ＜介護保険事業＞ 保険給付費（+29億円）、地域支援事業費（+5億円）
- ＜中央卸売市場＞ 新青果市場整備関連（+5億円）
- ＜港湾整備事業＞ I Cふ頭用地造成（+20億円）、I C臨海土地造成（▲24億円）、基金積立金（▲66億円）、公債費（+14億円）
- ＜公共用地先行取得＞ 香椎副都心公共施設整備に係る元金償還（▲40億円）
- ＜市営競艇事業＞ 開催運営費（▲17億円）、受託事業費（+13億円）
- ＜市立病院機構病院事業債管理＞ 建設改良費貸付金（▲126億円）
- ＜市債管理＞ 新発債（▲129億円 うち病院▲126億円）

5 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<下水道事業> 企業償還金（▲11億円）

<水道事業> 企業償還金（▲22億円）

<工業用水道事業> 建設改良費（+1億円）

<高速鉄道事業> 特別損失（▲83億円）、企業償還金（▲55億円）

項目	H27	H26	増減額	伸率(%)
下水道事業	1,125億円	1,137億円	▲12億円	▲1.0
水道事業	640億円	663億円	▲23億円	▲3.4
工業用水道事業	4億円	3億円	1億円	40.6
高速鉄道事業	717億円	852億円	▲135億円	▲15.8
企業会計合計	2,487億円	2,655億円	▲168億円	▲6.3

